

3月の 活動トピックス



伊勢原市議会議員
森尾 武史

3月は2月に引き続き来年度予算審議で慌ただしい一か月となりました。

伊勢原市の令和8年度予算は初めて400億円を超え過去最高。社会的なインフレは急激かつ大変大きく、私達の生活を直撃します。

一つ一つ市民目線で予算を精査し、持続可能な市政運営が行われるのか正しくチェックしてまいります。

引き続き組合員や市民の暮らしを豊かにするために活動を進めてゆきますので、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

伊勢原市議会議員

森尾たけし

議員活動報告

育てよう 私たちのいせはら
作ろう 私たちのみらい



人々の心と生活を豊かに
「暮らしたい街いせはら」を実現します

第16号 発行2026年 4月



【ご挨拶】

- 初挑戦の選挙／当選から早くも3年が経ち、多くの経験を積むと同時に、様々な繋がりを広げさせて頂きました。これからも着実に一步ずつ頑張っまいりますので、2期目挑戦に向けて引き続きのご支援ご指導よろしくお願い致します！
- 寒い冬も終わり、すっかり温かくなりました。酷暑の季節前、程よい陽気のこの時期を健康的に楽しみたいですね。本年度も引き続き力を合わせ、伊勢原をより良い街にしてゆきましょう！



【新年出初式】



【総合防災訓練】



【EVから電源供給デモ】



【駅前イルミネーション撤去】



【日産国際理解教室】



【大雪の中でツールド大山】



【NTCふれあいロードレース】



【卒業式】

【小田急新総合車両所について】

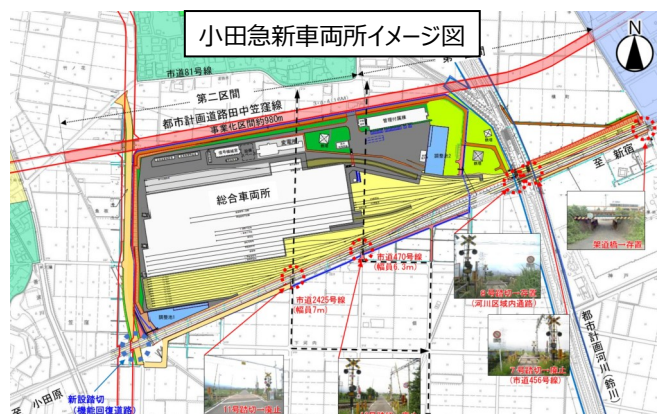
■ R15年開業に向け、現在鈴川を渡る陸橋工事が進行中です。

R8年度は用地取得も始まる予定であり、いよいよ車両所のデザイン案が出てきました。

R9年度には市道／踏切の付替えが予定されていますが、地域へは以下の配慮がなされます。

- ① 道路／水路施設の機能が継続すること。
- ② 地元の意見も考慮し、従前の機能を向上させる施設整備により機能補償整備すること。
(市道へ歩道の設置、用水管理通路の設置等)

費用は小田急が受け持ち、実施主体は伊勢原市となります。



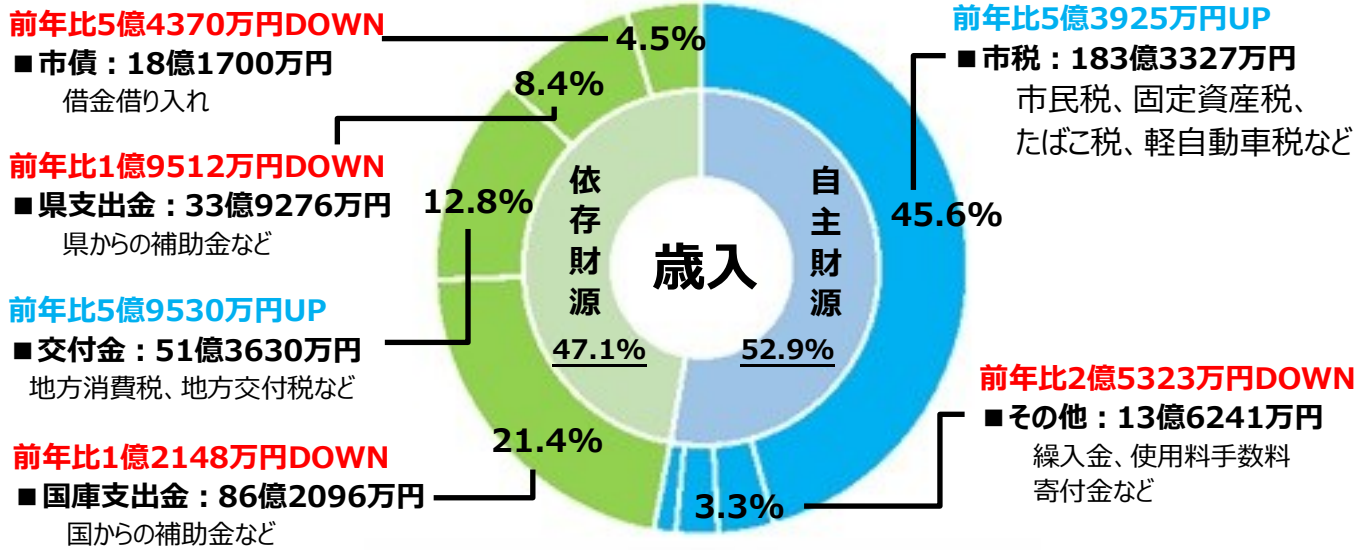
【議会情報】令和8年度予算

■ 令和8年度予算審査→可決

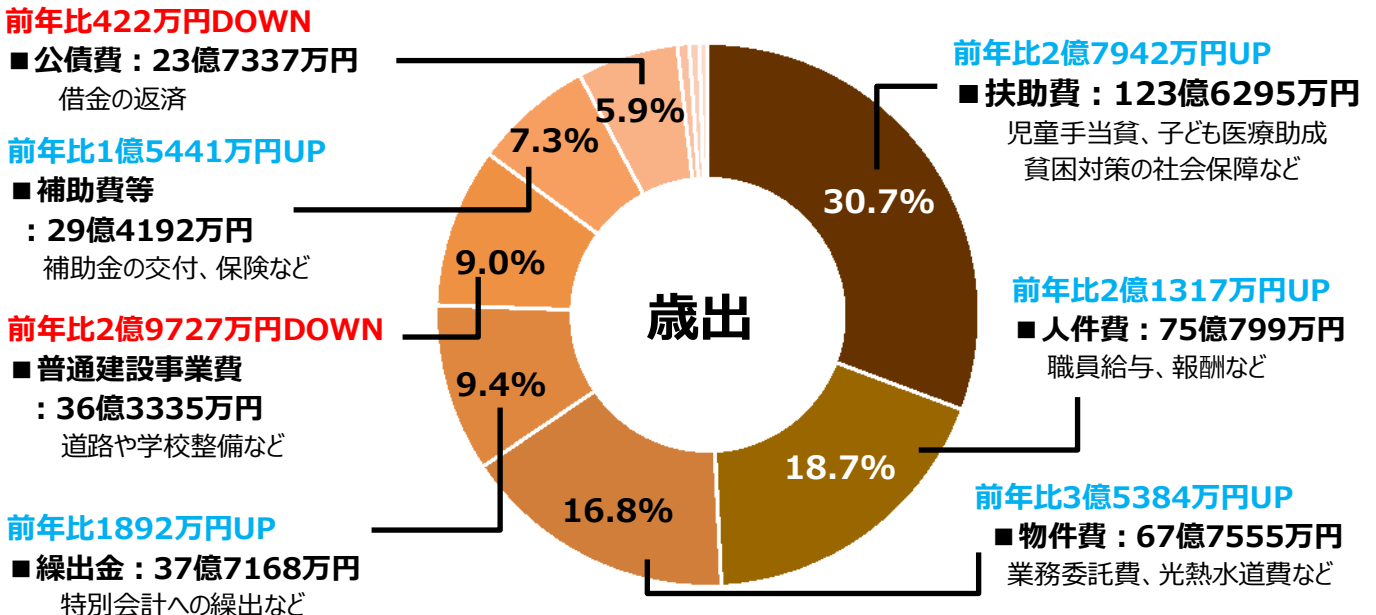
令和8年度の伊勢原市の予算総額は前年度+14億6800万円 (+2.2%)の668億9500万円と、過去最大規模となりました。

一般会計歳入としては昨年に続き**給与所得増などにより個人市民税が4億2100万円増**となる一方、物価や人件費高騰による**企業収益悪化により法人市民税は900万円の減**と引き続き軟調が続きます。

会計名	令和8年度予算額	令和7年度との比較 (伸び率)
一般会計	402億1700万	+7億7100万円 (+ 2.0%)
特別会計		
国民健康保険事業	90億9700万円	-7300万円 (- 0.8%)
用地取得事業	9億4700万円	3億4300万円 (+ 56.8%)
介護保険事業	87億2100万円	+2億4500万円 (+ 2.9%)
後期高齢者医療事業	21億5200万円	+2億5600万円 (+ 13.5%)
小計	209億1700万円	+7億7100万 (+ 3.8%)
※ 公共下水道事業	57億6100万円	-7500万円 (- 1.3%)
合計	668億9500万円	+14億6800万円 (+ 2.2%)



- 一般会計歳出を性質別経費で見ると、高齢社会や厳しい経済環境の影響を受け**引き続き扶助費の上昇**が目立ちます。物価高やエネルギー価格高騰の影響もあり、**人件費および物件費（消耗品・光熱水道費等）の上昇**も続いております。扶助費、人件費、物件費の合計は全体予算の2/3を占め、合算で266億円となります。
- 令和8年度予算402億円を3年前の令和5年度予算353億円と比較すると、**+48.9億円/13.8%の増**となります。10年前の平成28年度予算は311億円でしたので、**10年間で比較すると+約91億円/29.3%の増**です。一方、私達市民の所得は1.3倍にはなっていません。数字にすると**昨今の急激なインフレ**がいかに厳しいかが分かります。



【議会情報】R8年度予算 総括質疑

■ **会派を代表し、R8年度予算への総括質疑を実施**

以下一部抜粋して掲載

・ **総論／インフレ下での施政方針について**

Q： **強烈なコストプッシュインフレ**が続いており、公共施設整備を先送りするたびに将来市民負担は増大する。「**今やらないと将来もっと高くつく**」という状況がすでに現実となっている。どのインフラをどの順番／タイミングで更新・整備していくのか？

A： **これまでと同じ事業を実施するには、これまで以上に予算が必要になる認識**のもと、事業スケジュール見直しや、設備の劣化度・危険度などの観点から「緊急度」を判断し、公共施設全体での優先順位付けをするなど、限られた財源範囲で工夫しながらインフラ整備や公共施設の保全に努めるとともに、**一定の「基金積立」についても並行して予算を配分**した。

・ **自治体DXについて**

Q： **市公式LINEなどによるオンライン手続き申請数をR6年度実績の約2倍**にすると目標だが、どのような取り組みにより加速させるのか？具体的にどのようにして市民に使ってもらうように誘導してゆくのか？

A：これまで、電子申請や市LINE公式アカウント等を活用し、住民票の写しや戸籍・税証明書の申請、子育て・介護関連手続き、各種給付金申請など、市民の利用頻度が高い手続きを優先してオンライン化を進めてきた。令和6年度末におけるオンライン手続き可能数230／オンライン申請数39,323件の実績に対し、**令和9年度末までにオンライン手続き可能400／オンライン申請数8万5千件へ拡大**することを目標としている。

・ **公共施設管理について**

Q：児童生徒、学校職員、保護者、地域の方々が待ち望んだ**体育館エアコン設置が令和8年度から動き始める**。市長／教育部のご協力／英断に感謝の意を示しつつ、体育館空調設置への想いと概要全般について伺う。

A：小中学校体育館は、児童生徒が日々の授業や部活動等で使用する大切な教育の場。さらには、地域住民にとっても、災害時における避難所等として重要な役割を担っている。こうした中、**近年の異常気象や猛暑等を踏まえ、学校体育館への空調設備の設置は、喫緊の課題であると考え**、可能な限り早期の整備に向けて取り組む事とした。来年度の整備概要については、**まずは小学校3校及び中学校4校の設計業務に取り組む**とともに、**成瀬中学校及び伊勢原中学校については年度内に整備工事に着手**することで、早期の運用開始を図りたいと考えている。

Q：小中学校プールの統廃合について。水泳授業の民間施設活用の試行については、「**学校プールが壊れたので仕方なく民間施設活用**」なのか？はたまた、「**プール施設運用費用の削減や先生方の負担軽減を目指し、前向きに市で1つの室内プールに移行すべき**」と考えての取り組みなのか？

A：小中学校のプールは、多くが**建設から40年を経過しており、劣化による改修が必要となる時期を迎えている**。こうした中、将来にわたり児童生徒にとり、安全で質の確保された水泳授業を実施していくため、現在取り組んでいる「今後の学校プールの在り方検討」において、民間施設を活用した水泳授業の試行における効果と課題を整理するとともに、学校プール施設の維持管理コストを把握し、総合的な視点から、**民間施設の活用拡大の可能性**や自校プールの改修による使用、さらには、**市民利用も前提とした拠点プールの整備**等の複数の手法を検討してまいりたい。

Q：公共施設総合管理基金について。**公共施設更新は数百億円規模の予算が必要**であり、**建設時期も近いため一斉に寿命を迎える事**になる。そういった中、毎年1～2億円の積み上げでも心許ないという状況になってきているが、R8年度は**わずか5355万円のみ**の積み上げとなっている。公共施設更新の財政的な難しさに対してかなり甘いのではないのか？

A：この基金は、令和4年の創設時に、10年間に見込まれる公共施設改修等に係る経費の積立てや取崩しを目的に、令和5年度から積立てを開始している。ご指摘のとおり、基金創設時の推計に基づく令和8年度の予定額は、2億円となっていたことから、**1億円以上積立て額が不足する見込み**。また、**昨今の建設資材高騰・労務費の上昇**等を勘案すると、公共施設の更新や長寿命化対策には、**基金創設時の推計を超える財源が必要となる懸念**もある。今後は積立て財源の確保に向け、財政健全化の取組を推進するとともに、公共施設等総合管理計画や公共施設等再配置プラン等の改定に併せて、**基金の運用自体についても見直し検討の必要がある**と考えている。

・ **大規模開発について**

Q：伊勢原駅北口**再開発組合の発足が遅れている**と聞いている。一体何が問題で何を解決しなければならないのか？組合施行の再開発という状況の中、市行政の関わり方を伺う。また**今後市民への情報発信**をどのように行うのかも伺う。

A：再開発事業は工事費の高騰など社会情勢の影響を受け、**事業計画の精査を余儀なくされている**が、準備組合や事業協力者と連携し、実現可能な事業計画の立案に向けた取組を進めている。市としてもこれまで長年の懸案事項であった市街地整備を前に進めるため、補助金支援や権利者対応などを通じ、**事業実現に向けた精力的な取組を着実に進めてゆく**。また、事業進捗に応じた市民説明会などを通じて市民周知を行い**丁寧な情報発信を進めてまいりたい**。

【議会情報】R8年度予算 総括質疑

↓前ページからの続き↓

・ 後期高齢者医療保険／介護保険事業について

Q：高齢化の伸展により要介護者の数は増え続け、**介護問題は大変厳しく困難な道となる**事は確定しているが、施設数や介護サービススタッフの数は限られた状況。今後の介護者の支え方、つまりは施設で支えるのか？在宅で支えるのか？はたまた別の方法なのか？また、介護の質の担保を市はどう考えているか？

A：高齢社会進展による要介護等認定者の増加や核家族化の進行による高齢者単独世帯、高齢者夫婦世帯が増加している中で、介護を社会全体で支える介護保険制度は、**極めて重要な社会保障制度であると認識している**。一方で、年々増加する介護保険事業費の財源や、介護を支える人材の確保、サービスの質の確保や給付費の適正化など、**制度の持続可能性は喫緊の課題**である。持続可能な介護保険事業を運営していくためには、**介護予防や重症化予防の取組を推進し**、介護が必要となる時期を可能な限り遅らせる取り組みのほか、介護サービスの利用状況や、利用者ニーズを的確に把握し、**介護が必要となった場合にも、必要なサービスを確実に受けられる環境整備**に努める。

【市政情報】新トピックス

■ 伊勢原市プレミアム商品券

物価高騰の影響を受ける市民の生活支援と、地域経済の活性化を目的として、『伊勢原市プレミアム付商品券_いせはら得チケ』が発行されます。

今回は過去最高の**プレミアム率50%**！

1セット5000円で7500円分のお買い物物が市内で可能です。

おひとり様2セット限定／45,000セットの販売となりますが、**申込多数の場合は抽選**となりますのでご注意ください。



伊勢原市のHPへ

■物価高騰支援事業
伊勢原市プレミアム付商品券

過去最高のプレミアム率 **50%**

1セット5,000円で **7,500円分**

“いせはら得チケ”で **お得にお買い物!!**

販売数 45,000セット ※お一人様2セットまで

購入対象者 **市内在住者**

購入申込期間 令和8年4月1日(水) ~ 令和8年4月30日(木)

引換購入期間 令和8年5月27日(水) ~ 令和8年6月16日(火)

使用期間 令和8年6月1日(月) ~ 令和8年8月31日(月)

商品券の利用可能店舗(申込日)等は要項に届く

【入手の流れ】

- ・4月 1日～4月30日 購入申し込み開始（電子申請orはがき申込み）
- ・5月中旬以降 購入引換券発送（応募者多数の場合は抽選）
- ・5月27日～6月16日 引換場所で商品券を購入
- ・6月 1日～8月31日 市内取扱店にて利用（使用期限に注意！）



ご意見
お待ちしております！



皆様お一人おひとりの声が活動の原点です。

ホームページにて「森尾たけしの活動」を配信中
<https://www.morio-takeshi.info>
 森尾たけし | 検索 🔍



■連絡先
 〒259-1115 伊勢原市高森台2-1-90
 TEL：080-2899-7061
 E-mail：moriotakeshi46@gmail.com

■活動事務所
 〒243-0192 厚木市岡津古久560-2
 日産自動車労働組合 NTC支部内
 TEL：046-247-0883
 FAX：046-247-6810
 E-mail：t-morio@nissan-wu.jp

